

会議録（要点筆記）

会議名	第3次みやま市行政改革 第3回行政改革推進委員会
開催日時	平成29年9月27日（水） 午後1時30分～午後3時55分
開催場所	みやま市役所 中会議室
会議次第	1 開会 2 報告事項 （1）第2回会議録の確認 （2）第2回会議の質問事項について （3）みやま市の行政課題について 3 議題 （1）みやま市第3次行政改革大綱（素案）の諮問及び協議について 4 その他 5 次回の開催について 5 閉会
委員出席者	末吉達二郎委員、奥菌委員、芳野委員、菅原委員、木庭委員、坂田委員、徳永順子委員、久保田委員、吹春委員長代理、橋本委員
欠席者	徳永委員長、前原委員、末吉恵美子委員、堤委員
事務局	坂田企画財政課長、山田企画財政課長補佐、 村越企画・地方創生係長、宮川
傍聴者数	なし
会議資料	・第3次みやま市行政改革推進委員会第2回会議録 ・みやま市の行政課題（行政課題の視点から） ・第3次みやま市行政改革大綱（素案）

1. 開会

<山田企画財政課長補佐より開会>

2. 議事

<吹春委員長代理により進行>

【委員長代理】

本日委員長欠席のため代理で議事の進行を務めさせていただきます吹春です。よろしくお願ひします。

(1) 第2回会議録の確認について

事前にお配りしてました会議録で、何かお気づきの点がありましたらご意見願ひします。

<意見なし>

(2) 第2回会議の質問事項について

<事務局より説明>

【委員長代理】

ご質問、ご意見をお受けします。

【委員】

みやまスマートエネルギーについて。現在の経営状況や加入状況はどのようになっているのか。

【事務局】

28年度が本格的な事業開始年度となっている。売上げは7億6,790万円。固定経費を差し引くと、営業利益はマイナス6,700万円。営業外損益を控除すると営業利益はマイナス1,600万円。1年目で売り上げも少なく、純利益で1,600万円程度の赤字となっている。29年度は1,400万円程度の黒字を目指すということで計画がなされている。電力の加入状況は、一般電力の加入者は平成29年5月26日現在で697世帯。うち市民サービスに加入しているのが218世帯。一昨年HEMSという電力の見える化のための端末を約2,000世帯に設置している。

【委員】

スマートエネルギーについて。決算事業年度では 27・28 年度。2 年連続の赤字。29 年は経営予測としては黒字化を目指しているが不安定な状況にある。大型の売電契約が進んでいないということで理解している。HEMS を 2,000 世帯に配布してアフターケアが殆どされていない状況で、700 世帯しか契約ができていない状況となっている。エネルギー政策の具現化のために第三セクターを設置していると理解している。しかしながら順調に機能していくものではないので、財政当局も問題意識を持って進めていただきたい。

【事務局】

ご指摘のとおりエネルギー政策課と第三セクターのみやまスマートエネルギーは連携をとって事業の推進にあたっていかなければならないと考える。HEMS 設置のアフターケアができていないのもご指摘のとおり。特にバーチャル商店街といった買い物弱者のためのサービスも行っているがなかなか普及していない。今後市としてもスマートエネルギーと歩調を合わせて事業推進に努めてまいりたい。

【委員】

みやまんでんきにはポイントカードがあって、毎月 350 円を支払うことが必要なのだが、メリットが少なく、サービスが悪い。

【事務局】

エネルギー政策課を通じてスマートエネルギーにつないでいきたい。

【委員】

公民館の施設使用料について。年々下がっている理由は。

【事務局】

施設使用料について。公民館施設使用料については「まいピア高田」は含まれていない。使用料収入が下がっている理由の一つとして、瀬高公民館の老朽化で空調設備が壊れていることで利用できない時期があったことや、全体的な人口減少・高齢化の進展も起因していると思われる。

【委員】

市税等の未納について。どこまで許されるとかがあるのか。

【事務局】

5 年間何もしないと時効になって債権そのものが無くなることになる。どれくらい達したら…という金額の問題ではなく、収納率がポイントとなる。市民税の平成 27 年の徴収率は 96.3%となっており、県内 28 市中 8 番目の徴収率とな

っている。他の徴収率の県内順位についても比較的良い方である。今後も時効にならないように債権管理に努めていく。

【委員】

固定資産税や国民健康保険税の滞納が多いようだが、収納率は金額に対する率であると思うが、人口に対する未納率はどうなっているのか。

【事務局】

おっしゃるとおり本来徴収すべき金額に関する徴収の割合となっている。未納者の数については公にするデータはお示しできないのでご理解願いたい。

【委員】

みやま市の滞納者に対する対策は非常に頑張っておられると感じる。みやま市は法人税が少ないという特徴があると見られる。

【事務局】

委員のご意見を税務課に伝えます。

(2) みやま市の行政課題について

＜事務局より説明＞

【委員長代理】

ご質問、ご意見をお受けします。

【委員】

今後どのように要望されている内容を活かしていこうとされているのか。

【事務局】

大綱や実施計画の中に盛り込んでいきたい。なるべく反映させる方向で検討したい。

議事(1) みやま市第3次行政改革大綱(素案)の諮問及び協議について

＜事務局より説明＞

【委員長代理】

ご質問、ご意見をお受けします。

【委員】

防災に関する件について。防災無線が聞こえにくい。FM たんとを利用した取組みを進めるといった考え方もあるようだが、防災無線が聞こえるか否かの検証

は行っているのか。

【事務局】

現状、防災無線を増設し、スピーカーが市内に77か所ある。必要などころには防災ラジオを配布した。コミュニティ FM はあくまで補完するもの。市内全域における検証は完全ではないが、概ね現状で行き届いていると考える。

【委員】

防災無線について、必要か否かの調査を行われた際、必要ないという区もあったと聞いている。しかし、晴天時と雨天時では聞こえ方も異なり、必要な時に防災無線を聞こうとしても聞こえないケースがある。防災ラジオも区長が主に持っているようだが、それだけでは不安な面もあるので、防災広報については今一度検討された方が良い。

【事務局】

ご指摘のとおり、雨風が強い日に家の窓を閉め切った状態では防災無線が聞こえにくいのは構造上の問題であり、これを克服するためには全世帯に防災ラジオを配布する手段もあるが、早急にはできない。FM たんとも聞こえにくいエリアがあるので、スマートホンのアプリで聞いていただくということも有効手段であると考え。検証はしていかなければならないと考えている。

【委員】

「行政改革とは、行政機関において、組織や機能を改め変化させる」と認識している。次回、実施計画（案）が提案されると思うが、「行政組織や機能にどのような課題があるからこのように変える」という形を出していただければわかりやすい。

行政改革が目指すものは、目標が必要と考える。ある市町村では市民の意識の変化を目標にしているところがある。「行政改革が進んでいると感じている市民の割合を〇%に上げる」など、目指す目標値を具体的に挙げて、その結果このように変わったという評価が必要と考える。経費についても同様。漠然とやったことを羅列するだけでなく、目標があってそれを評価し、検証することが大切であると思う。

【事務局】

今回提示したのは大綱。次回、実施計画を説明予定。課題と目標について、特に目標については数値目標の指摘であると思うが、すべての項目に数値目標をたてるのは難しく、今のところ用意している様式では数値目標については出せていない。次回説明した内容で協議いただき、どうしても必要であれば持ち帰って検討したい。例えば市民満足度を上げるという項目であったら、アンケートをとって〇%を目指すということでは思うがなかなか難しいと考

える。作業に時間を要するので現時点では難しいと考える。

【委員】

全くできないことではなく、数値化できるものもあるので柔軟に検討してみたらどうか。

【事務局】

数値化できるものは数値化する方向で検討するが、全てはできない。

【委員】

P3にこれまでの取組みが書かれているが、成果だけでなく、第1次、第2次の成果と課題を記述し、検証して第3次ではどう取り組んでいくのかを記述したほうが良いのではないか。

【事務局】

ご指摘のとおり成果しか載せていない。残った課題について書き加えて提案したい。

【委員】

みやま市をどのようにして発展させていくかということが書いてあると思うが、そのためには、行政の効率的運営や、人件費削減等があると思うが、そのような記述が少なく、行政改革という感じが薄く感じる。少子高齢化、過疎化、厳しい財政状況を背景に、収入を増やし支出を抑制することが大切と思うが、そのような観点での記述が少ないと感じた。

【事務局】

市の発展のために行政内部の改革をやるという観点。具体的な改革の内容については、次回説明する実施計画の項目の中でご覧いただきたい。行政改革というと、とにかく絞り込めという時代とは少し違うと思う。市民サービスもある程度確保しなければならない、少子高齢化で社会保障関係経費も必要である、仕事量は増加する中で職員も絞るだけでは立ち行かない。国も削減だけという考えではないと言っている。解かりにくい点は次回また説明したい。

【委員】

行政改革については傷みを伴う部分を市民に明確に言うことについては賛成。1次、2次についての行政改革でそこに取り残された課題があるから3次の計画を作っていると理解している。

P10「I開かれた市政への取組みと市民等との協働」の「パブリックコメント」について、パブリックコメントは偏った意見も寄せられることも考えられるので、行政からの情報の提示をしっかりとってパブリックコメントを高めていく

ことを意識されたい。

「ICTの活用」について。高齢社会において、使いこなす人間が誰なのかを見据えて、時代に応じた必要性でICT化を進めていただきたい。

「公共施設マネジメントの推進」について、スクラップアンドビルドを基本として、体育館等の整理統合など、明確にしていくべきと考える。

小中学校の統廃合については現在ストップしてしまっている。前に進む具体的な計画を推進していくべきであると考えている。行革に入れていく項目でないと判断されるならば構わない。

【事務局】

パブリックコメントについては、よく情報を提供したうえで実施していきたい。ICTの活用については、市としても普及に努めることを記載したいと考えている。公共施設マネジメントについて、昨年公共施設等総合管理計画を策定し、今後40年の長いスパンの計画であり、今後40年で公共施設の床面積を10%削減する計画。今後は計画推進のための実施計画をつくる必要があると考える。

小中学校の統合の件については、桜舞館小学校の開校にあたって、市民理解を得てすすめていく必要があったと感じている。行政改革に掲載するか否かということであるが、現在、大綱にも載せていないが、複式学級の解消、適正規模における教育の推進など、施策の観点ですすめさせていただきたい。

【委員】

統廃合の件については、複式学級の解消など、できるところからやっていくということもあるのではないかと。

ICTの活用については、推進していただきたいが、高齢者等への配慮が必要と考える。

公共施設等総合管理計画については、40年の長期的な計画ではあるが、現に早くやらなければならない施設については、早期に削減するなど、実施計画を策定し推進されたい。

【委員】

みやま市の最大の課題はこれであると、内外にこれだけ徹底してやっていくのだというアピールする取り組みも必要と考える。

【事務局】

行政改革そのもので内外にアピールすることはあまりないと考える。内外にアピールするものはシティプロモーションの強化という項目を挙げている。行革そのものは総合的な話の内容となっている。

【委員】

P12の効率的な組織体制の確立においては、「業務量調査に基づく人員の適正

配置」などが示されており、積極的にすすめていただきたい。P12「IV安定的な財政基盤の確立」において、「創意工夫による自主財源の確保に努めます」とあるが、もう少し書き加えられたいと思うがどう考えるか。「第3セクターの経営健全化」については経営状況の把握、経営の健全化は十分やっていただきたい。

【事務局】

収入の確保は自治体の場合は非常に難しい。民間企業のように売上げアップはなかなかできない。例えば広告事業などの収入が考えられる。市役所玄関の広告収入や、ホームページ、市報などが考えられる。具体的な内容は実施計画に反映させたい。

4. その他

特になし

5. 次回の会議の開催

日時：10月23日（月）13：30～

場所：みやま市役所 本庁4階 大会議室

（午後3時55分 閉会）